



【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

黒潮北縁域は、2月23日現在、屋久島御崎の南9.4マイル付近にある。

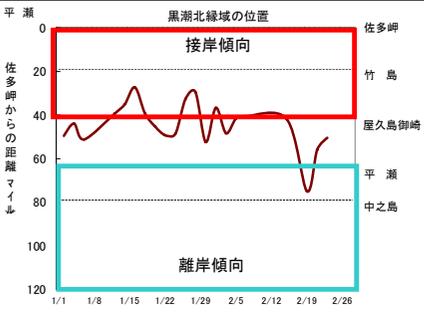
○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、2月23日現在、76マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して黒潮流域で0.6℃昇温し、鹿児島、中之島で変わらず、その他の海域で0.1～1.6℃降温した。

平年比較では、鹿児島で“かなり高め”、甌海峡で“やや高め”、竹島で“やや低め”、屋久島御崎、中之島で“かなり低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	22.2	+0.6	+0.3	平年並
鹿児島	17.1	+0.0	+0.9	かなり高め
佐多岬	17.7	-0.7	+0.0	平年並
竹島	18.5	-0.5	-0.6	やや低め
屋久島御崎	18.4	-1.6	-1.6	かなり低め
中之島	20.5	+0.0	-1.0	かなり低め
笠利崎	20.7	-0.1	-0.1	平年並
与路島	21.0	-0.3	+0.2	平年並
与論	21.2	-0.4	+0.1	平年並
甌海峡	17.6	-1.3	+1.1	やや高め

鹿児島一那覇定期客船観測は2/23-24
串木野一飯定期客船観測は2/24

【漁況】

○定置網

甌島海域では、1日のみメジナ(600g)が70kg、シマジ(2kg)が20kgの入網。西薩南部海域では、ブリ(1.5～10kg)が0.4～4トン/日、チウオ(200g)が1～2トン/日、マシ(50g)が200kg/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でブリ(9kg)が540kg、ヘダイ(700～900g)が140kg、イサキ(600～700g)が130kg、キビナゴが100kgの入網。大隅半島東部海域では、週計で39統がサハ類中、チウオ、サハ類小主体に35トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でサハ類、ブリ、カクチイソ主体に6.2トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、6～7箱/隻・日の漁。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、3～4kgを3尾/隻・日の漁。大隅半島南部海域では、6kgを28～80尾/隻・日の漁。

○トビウオロープ曳網

種子島海域では、大トビを1日のみ170箱/統の漁。屋久島海域では、大トビを2～40箱/統・日の漁。

(旋網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記表に記載しています。)

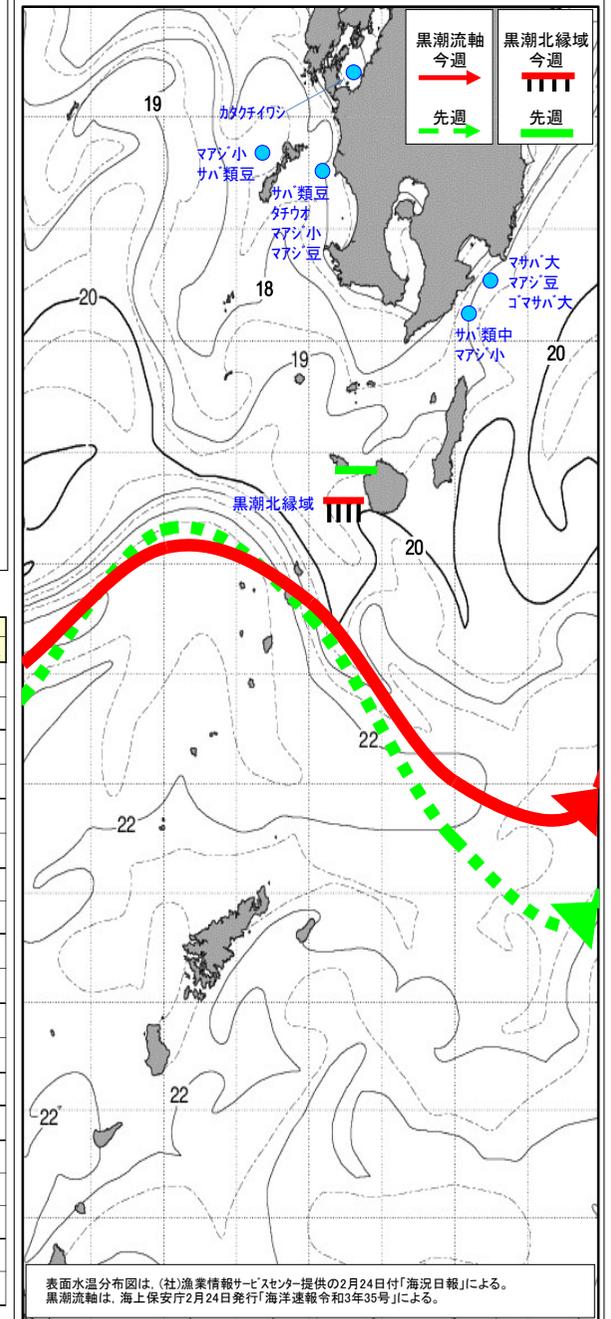
業種別・漁港別水揚げ状況

※前年同期(第2839報)

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日	前週		前年同期		
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	1	8	串木野沖	チウオ22 マシ小22 マシ豆16	8.4	3	46	10	288
		中	4	20	串木野沖 甌西長島	サハ類豆27 カクチイソ20 マシ小18	5.0	9	22	10	62
	枕崎	大	8	530	志布志沖	マシ豆39 マサハ大33 コマサハ大14	66.3	2	67	4	144
		中	18	678	志布志沖	マサハ大54 コマサハ大21 マシ豆10	37.7	5	105	15	370
	内之浦	中	2	8	内之浦沖	サハ類中64 マシ小32	3.8	1	6	0	—
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—	
	計	大	9	538	—	—	59.8	5	113	14	432
中	22	698	—	—	—	31.7	14	127	25	432	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
	枕崎	0	—	—	—	—	2	219	0	—	
棒受網	阿久根	1	1	長島	カクチイソ100	1.2	9	7	31	25	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	39	35	—	サハ類中39 チウオ18 サハ類小12	0.9	32	16	50	14	
刺網	阿久根	26	2	牛深沖 阿久根沖 甌長島	キビナゴ100	0.1	15	1	57	4	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	—	—	—	0	—	0	—	
		小	0	—	—	—	0	—	0	—	
	海外旋網	海旋	0	—	—	—	—	1	729	1	479
		山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—
海旋	2	1257	—	カツオ小97	628.5	0	—	0	—		

○その他

甌島海域では、曳縄でハカツオ(2kg)を1日のみ67kg/隻の漁。西薩海域ではごち網でマダイ(1～2kg)を36～60kg/隻・日の漁。底曳網でツキカイ(100g)を30～40kg/隻・日の漁。曳縄でサワラ(1～1.5kg)を15～40kg/隻・日の漁。刺網でヒラメ(1～1.5kg)を5～20kg/隻・日の漁。延縄でキダイ(300g)を1日のみ12kg/隻の漁。西薩南部海域では、曳縄でハカツオ(1.5～2kg)を40～200kg/隻・日の漁。刺網でススキ(1～2kg)を1日のみ100kg/隻の漁。志布志湾海域では、底曳網でハメ(500～600g)を15～20kg/隻・日、マダイ(1kg)を10kg/隻・日、イトヨリダイ(200～300g)を10kg/隻・日、ヒラメ(1kg)を10kg/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでムツ(1～3kg)を30～40kg/隻・日、マダイ(3～5kg)を20kg/隻・日、カンパチ(2～3kg)を15kg/隻・日、コマサハ(600～700g)を70～80尾/隻・日、メダイ(4～5kg)を1日のみ300kg/隻の漁。奄美南部海域では、一本釣りの1～6日操業でハマダイ(1.7kg)を23kg/隻、チカメントキ(1kg)を13kg/隻の漁。旗流しの2～6日操業でソテイカ(胴体のみ10kg)を21ハイ/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の2月24日付「海況日報」による。
黒潮流軸は、海上保安庁2月24日発行「海洋遠程令和3年35号」による。